

いい人財を求めて他責で待つのではなく
人財が成長し活躍できる組織を目指す

「学びの楽しさを大切に！」これは、毎年年初に発表している「新年度に向けて」の今年の冒頭です。恒例となったこのインタビューでも、これまで私たち菅田進学塾グループは、「学びの楽しさ」を大切に行っていることを繰り返しお話ししてきました。

未知なるものに出会ったときのとくめき、深く考えてわかった瞬間の快感、試行錯誤した末に閃いた興奮、これらは

他のものからは得ることができません。「知」の刺激から生まれる「感動」こそ「学びの楽しさ」の本質です。この楽しさがさらなる未知を求める原動力を生み、自ら思考し挑戦する経験を続けることで「解決力」を鍛え伸ばすと信じています。

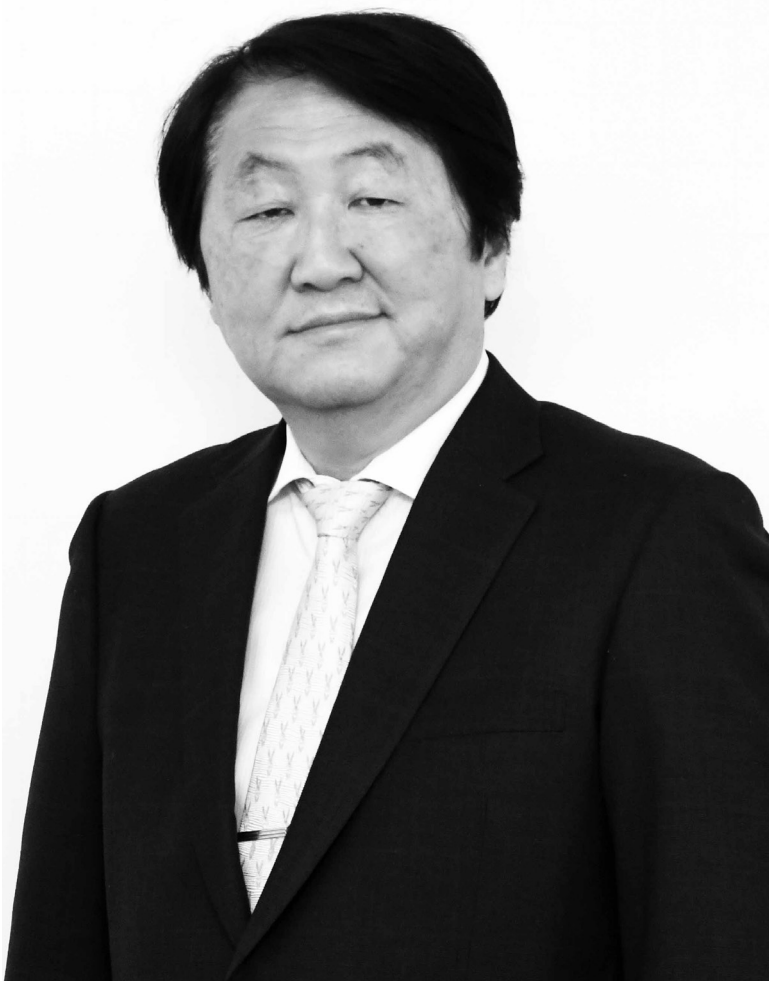
いよいよ大学入学共通テストが新課程となりました。その影響は、すでに中学入試・高校入試にも波及していることは、

皆さまご存じの通りでしょう。単なる知識の量ではなく、思考力・判断力へと入試で問う学力の質が変化してきたと考えられます。常に変化し、予測が困難な不確実な未来を生きていく子どもたちにとって、答えのわからないものに立ち向かう「解決力」が重要であることは間違いないと思います。

しかしながら、受験サービス産業の私たちは、ともすれば、成績や合格という短期的な成果のために知識を詰め込み、安直な対策を訓練することに囚われがちです。結果として、子どもたちに、勉強は我慢して乗り越えるものと捉えさせ、追い込んではいないでしょうか。もちろん

ん若き日の、自らに試練を与えて鍛え努力する体験の大切さを否定するわけではありませんが、それだけならば勉強以外でもできるはずです。勉強は単なる難行苦行ではありません。子どもたちに伝えるべきものは、勉強の本質的な魅力です。魅力的だから自ら意図的に試練を選び、諦めずやり続けるのです。

私たちは、勉強からしか得られない「学びの楽しさ」を大切に行っています。小中高一貫指導体制で、知識の本質的な理解に基づいて思考力・判断力を伸ばすことで、知的好奇心を引き出し、学ぶ楽しさを育てます。同時に、受験での「合格力」にこだわるといふ両極端を並立する



菅田進学塾グループ（株式会社ジャスメック）

千葉県千葉市

清水 貫

代表取締役

菅田進学塾グループ
菅田進学塾
菅田進学塾 ism
菅田進学塾 sirius
菅田進学塾 premium
／東進衛星予備校
東進中学 NET

勉強からしか得られない学びの楽しさと 合格力を並立する困難な道を歩む覚悟で 積極的な採用かつ組織の在り方を追求

困難な道に挑戦します。

そのため考えるべきことは、人と仕組みだと思えます。まず人です。私たちは、塾・予備校で働きたいと考える人を大切にする経営を目指します。高邁な志を持ち続け、やりがいのある仕事として活躍することができる働きやすさ、将来まで安心して続けられる環境の提供こそ、経営者の使命です。もちろん、大切にすることは、ただ安易に楽に働けるという意味ではありません。自ら規律を保ちながら、お互いに切磋琢磨し、やりがいに満ちた人たちが明るく楽しく創意工夫し努力で

きる場を意味します。

現在、教育業界は採用に大苦戦していますが、私たちは積極的に採用していきます。採用ではその人の志を高く評価しています。もちろん能力は評価しますが、それは研鑽すれば伸びる要素です。入社後に成長できる研修に力を入れていきます。いい人財がほしいと他責で待つのではなく、いい人財が育つ組織に。それができるければ教育の会社であることを自己否定していると考えないようにしています。人財が成長し活躍できる場としての組織の在り方を追求していきます。

新しい技術を使いこなすだけでなく
理想を実現するための道具として活用

そして、発展への両輪のもう一つが仕組みです。コロナ禍も契機となり、オンラインやDX、AIなど様々なものが変化してきました。私たちも、変革の流れに対応するために様々なものを試し取り組んできました。どちらかというと素早

く対応できてきたと思います。しかしながら、新しい技術をどう発展させるかがカギとなる時期に差しかかっていると考えます。新しい技術をどう使いこなせるかではなく、「理想とする何かを実現するため

の道具としていかに活用できるか」が問われるでしょう。実際これまで生み出された革新的な事柄は、目的や夢を果たすべく技術を活用して成し遂げしてきました。新しい技術を取り込む段階から先に進んで、次の未来を切り拓くために知恵を絞るべきときだと思えます。

それは、最近登場した目新しいものを指すのではなくあります。教育の世界は、これまで職人技のような「暗黙知」の経験によって形作られてきましたが、いかに「形式知」化して技術として伝承していけるかが、高い経営品質を長期的に保つには欠かせないと考えます。

受験を通してこそわかる「学問の楽しさ」
その感動を次の世代に伝えていきたい

受験という試練の最中であっても、「知」の素晴らしい体験を提供し、「好き」を失わせないように、むしろ受験を通してこそわかる「学問の楽しさ」の感動を次の世代に伝えていく。そのような、民間教育に志を持ち、仕事としてやり続けたいと思う人たちが集まる魅力のある磁場にしていきたいと考えています。

昨年は業界を切り拓いてきた創業者の方々、昔からの個人塾の先生、現場の責任者の先生などの計報が続きしました。救急搬送や入院などの報せも相次ぎまし

た。当社でも、長年現場で活躍してくれた定年間際の社員を病気で失いました。また、人口減少という大きな社会変革から、M&A、倒産など業界再編の荒波が続き、時代の変革を感じます。

たとえ大きく時代が変わっても、民間教育は素晴らしい仕事であり続けることを強く願っています。その可能性を信じます。同じ業界で競い合う皆さまと切磋琢磨しながら、微力ながらも社員たちと感謝の気持ち忘れず、常に明るく前向きに夢と希望を心に抱いて頑張ります。